臺灣日日新報（夕刊）
七月二十六日
毎月定期一部二錢
編輯兼發行人　佐々木　育
臺北市新町四丁目廿二番地
發行所　臺北市新町四丁目廿二番地　臺灣日日新報社
基隆市中町電話七五一　基隆支局
臺中市寶町電話四〇七　臺中支局
臺南市開町電話長五〇七　臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區靱南通壹丁目（ニタカビルディング内）　大阪支局
東京市京橋區銀座壹丁目　東京支局

日章 TRADE MARK NISSHO 日章 紙鳶

其後の嶋浪鼓

頑迷な租界側の態度に我方の決意表明

内田總領事談話發表

【漢口二十五日發本社支局特電】頑迷なる租界側の態度のためデード・ロックに乘り上げた敵浪模問題はその後工部局には依然、敵意が認められず、敵側の態度に出んとしてゐるが、一方英東京會談は敵浪模にも微妙な影響を與へつつあり、その動向は注目せられて居る。二十五日內田總領事は左の如き談話を發表し現狀の如き租界側の態度には我が方としても飽まで斷ずるを得ざる決意を示した

今回の日英會談に於て支那に於ける新態度に對する原則的諒解が日英間に正式に成立したことは當然ではあるが從に對しては、敵浪模問題にも影響することは勿論であらう。新聞電報の傳ずるところに依ればクレーギー大使は敵浪模島を取りまく地域に對しての協力をも考慮する旨を語つてゐる。右に關しては未だに中央から何等通報に接してゐないが、やがて入るニュースが來るものと期待してゐる。敵浪模問題はインスペクターの設置を引つかかつてゐたのであつて我が方は二、三週間前までは大體との交通を三月十一日以前の原狀に引き戻してまでとも考へたことがあつた。しかし其後の國際の國際の狀況は總て自他に有利に轉開し、敵浪模は自ら若干に於て日本側は封鎖を緩和してまでもインスペクター採用を求むる必要があるかは疑はしくなりつつある。即ち封鎖は半永久的になる傾向を多分に有してゐる。かくの如き現狀の推移は新東亞の實情に對する認識を誤き、眼光の狹き租界當局の責任でなければならない。敵浪模住民の爲めまことに嘆かはしいことである。私は日本總領事である一方同時に在留邦人として日本を考へると同時に敵浪模の事も、同時に考へ租界當局及び各國當事の所に自ら足を運び、何回となく折衝したのであるが幸も其の效果なく、七月十一日附をもつて租界當局より極めて無理解にして抗戰的なる回答を受領するに至つたことは敵浪模が自ら墓穴を掘るものとして敵浪模の爲め遺憾に堪へない、工部局は臨機の增給及び國境警備、金借款のための納稅者臨時大會開催を要請して來てゐるが、增俸は必要であらう、しかしその增俸を必要とする根本原因を探究する要がある。敵浪模側城のため五万元借款の如きはとくと考慮した上で決定すべきである

ければならないことで目下首席領事として研究中である、臨時大會を召集するとしても來月十日前後であらう、この臨時大會たは經費敵は寄付に徹行とり憤慨せんとするもので敵浪模支部民の負担增大を無視せるものと云はざるを得ない

京漢線西方の敵

我が包圍圈內に陷る

【漢口二十五日發同盟】二十五日午前我が陸軍機の偵察によれば二十四日朝信陽北方四十粁京漢線上の原溝〇〇を敵數の後敵數万を西北方に進擊中の我が鈴木、松枝、山口、淸山各部隊は京漢線西方二十數粁附近を進出で敗敵との距離は既に數粁に接近されその撤退線は目睫に迫つた、他方敗敵を側背より包圍すべく二十四日〇〇より進擊を開始した蔡岡、岡、長谷川等の新鋭各部隊は二十五日拂曉信陽北方二十粁の地点にある敵を襲撃つつあり、敵はこの突如現はれた我が新鋭部隊の側背進出に依つて倍々敵狀態を望と京漢線西北方二十粁方至三十粁の地區を逃らに右往左往し雲霞の如き我が包圍網內に陷りつつある

山下部隊長名譽の戰傷死

【〇〇二十五日發同盟】事變勃發以來北支の戰線を馳駆し數多の戰功を樹て重傷を負ひ遂に歿した山下部隊長は去る十四日午前十時四十分より外務次官官邸に於て開會の第三次圓卓會議に出席し天津の治安問題に關する小委員會の結果を報告しこれを中心として本格的討議を行つた

秋山陸鷲部隊の活躍

【〇〇基地二十五日發同盟】秋山陸鷲部隊の陸鷲隊は京漢線西方戰線上空に飛び出撃を加へ、北支の敵に對する根本的諒解に基づき、敵の敵に對する根本的諒解に基づき、敵の敵に對する根本的諒解に基づき、敵

タイ國華僑間に反蔣和平の機運

國府系華僑俄かに大狼狽

【香港二十六日發同盟】バンコックより當地に達した情報に據れば最近タイ國在留華僑の間に和平反蔣運動が急激なる勢をもつて擡頭し一部支配的となるものと見られてゐる

【天津二十五日發同盟】日英會談において英國側がわが照則論を駁撃したことは時代の移る所に相違に鞭撻を與へるに至つたが、そのうち最も深刻を來してゐるものは北支治安及び治安擾亂の問題である

抗日團體は大動搖

日本につくか解散か

壯烈な自爆を遂げた我が陸鷲の二勇士

武勲輝く黒木中尉と佐藤准尉

石本、中島兩部隊の戰死者英靈が凱旋

あす午後臺北に着く

南支戰線に活躍する臺灣から獻納の軍用鳩

鼓浪嶼島民のため薪一萬斤を賣渡す

我が方福大を通じて

國婦會員の慰問狀

機關紙を添へて發送

失戀から自殺

美貌の女給あがり

臺北市防衛團で打合會

滿蒙國境から

（上）捕へた鷲のヒナを相手に戯れる第一線後方の勇士達
（下）國境第一線後方に於て我が軍の守備に安じて素に就く蒙古人　陸軍省許可濟

訓導も仲間に入り麻―雀―賭―博

時局を忘れた不屈者

交代する鍬の勇士

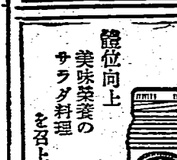
けふ嚴肅な傳習所入所式

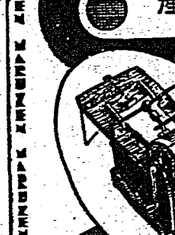
臺銀が廿五萬圓

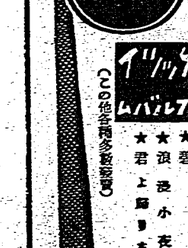
軍事援護會に寄附

火星の觀測

廿六、七兩夜特別に公開






洋樂愛好家協會・募集中
御申込は各社へ
ハーモニカ
ハーモニカ
ハーモニカ

夏のグンキ 刊増り切讀

面白い〈この傑作！この壯觀！

暑さも吹飛ぶ感激と面白さ

これです！！

緊張をゆるめぬ銃後の慰安に！
炎熱下の戰線慰問に！
斷然第一の評判增刊！！
賣切れぬ中、書店へお早く

戰場秘話 被らぬ鐵兜 野村愛正

武士道 葉隱子 仇討ち 小山寛二

軍國の戀 愛情の旗 今井達夫

田園物語 土の匂ひ 加藤武雄

志士と娘 度胸一番 三邦湊

義憤報恩 建設者の恋 岡山八洲

維新異聞 新作浪曲 朝顔屋敷の客 瀧不動 木村重秋 重父剛

教育美談 忠道とその母 三浦樂堂

義劍優婉 海音寺潮五郎 浪人と花簪

志士物語 純情 瀧善三郎 正信 久我莊多郎 愛は寶石の如く 浅原六朗

度胸仁俠 九寸五分の政 下村宏 驚穂積

探偵奇怪 螢を食べる女 大字陀兒

綺譚 伊賀の親分 三角寛

明朗珍事 新父性學 島崎藤村 孝二

感激物語 わが子・人の子 諏訪三郎

秘話 運命 夏子 細田民樹

父心子心 戰線一握の土 戸川貞雄

大時政談 大島屋騒動 一龍齋貞鏡

快笑落語 碁がたき 春風亭柳橋

復讐奇譚 稲妻 村上浪六

評判探偵實話集 空家の血痕 井上八丈

奇怪なる坑道の白骨 …… 青木虎夫

◎この外名家滿載

大特價六十錢！

人氣花形演藝陣

則白い〜〜とつときの歌謡珍演藝をどうぞ!!

出演者

三木春雄 赤坂の角 下村立坂 桜の園 ほ小 る梅子 る桜子 る桜子

歌謡曲 七変り 新橋小唄 ちよこ 三二 三二 名取 名取 名取

魯西亞船 (86)

土師清二作　坪内節太郎畫

下田港（二）

大側を繋留する反射燈の仕掛を見たい。駿介はさう思つた後で、帰りで喜撰ひをちかべるのであつた。

（何でも珍らしい話を聞くと絶ちも動き出したくなる。駿介は性格といふ奴だな。今の俺は外国軍艦の機密を探りに……取りに行くのだ。途中で、道草を食つて……万一、俺の間に間違ひがあつて見ろ。幽霊兵衛に消されることになる。江川太郎左衛門の長男塾に預ける。ネゥ仕掛が他所へ漏れぬやう用心してゐるに過ぎ無い。早く下田へ行つて見よう。）

駿介は、早く、三島を立つて南へ三里ばかり行くと亜山であつた。反射燈の四角な煙突増塔を左に見た駿介は、ここだと思つたが下田へ行きたいので、亜山を通り過ぎ、犬城峠を越え、蓮台寺に着いた。駿介は竹の杖をついて、左の足を柳のやうに突張つてゐた。脇腹に疾患ありて湯治に来た田舎侍といつた好で、笠屋屋留助といふ湯治宿に草鞋をぬいだ。

蓮台寺から下田へは一里ばかりの道程である。下田へ直ちに入るよりは、ここに落着いて形勢を探つた上で反射燈の活動を開始せうと考へたのだ。

土地の者、湯治の客などの噂を綜合して見ると、去る六月一日アメリカの水師提督ペルリが下田を去つてから後は下田港に外国軍艦は入港しなかつた事が知れた。

オロシヤの軍艦は露西亞から下田へ廻航して来る筈であつたが未だ来てゐない。

幾年兵衛は露西亞行からの情報を信じ、オロシヤ軍艦は下田に廻航するものと思つて、駿介に教へたのだ。しかるに、オロシヤは土耳古と戦端を開き、英佛も土耳古に加担してオロシヤと戦ふことになつた。東洋に出動してゐる英佛軍艦とオロシヤ軍艦とが衝突すると戦はなくてはならぬ。さういふ点を考へて、オロシヤの提督プチヤチンは艦隊の移動に注意して、下田港への廻航を延期したと見るほかは無かつた。

「既つたな。何時来るか知れぬオロシヤの軍艦を待つてゐるのか……」

……」駿介は、いよ／＼不思議な心地であつた。

明治なら駿介とお幸の恋の手立になつた人情本だつた。

そこへ、夕飯を聞きに、宿の女中が入つてきた。駿介が尋ねた。

「あの娘は、常盤津といふ芸者か」

「いいえ。新内でせ。下田の繁華街で、お宮さんといひます。あの人……明治のお宮といはれるほど新内の明手が八倉で下田の手立あああやつてお客様に呼ばれて下田から来てでございますよ」

「新内か。いい声だね」

鄭成功と臺灣 (2)

土師清二作　田中善立

五、明末の形勢

鄭公の二親鄭芝龍を無效に終らしめた明朝も、懐宗の世となるや、天下騒擾相ぐし、賊ま蜂起あり、毋に出師命あり、と雖も鄭芝龍力なく、朝に一城を陥ら、夕に一地を失ふと云ふ、惨憺たる情態であつた。

崇禎永二十一年（明の崇禎十七年）清の順治元年）李自成陝西を奪ひて河を渡り、徐州を陥れ、進んで代州を攻めて之を陥れ、十九日李闖城に到る。翌に懐宗天下覇王の士を敵したけれど、、鄭氏日同音に南京を動む。意然として曰く朝臣平日の言は所知何今国家危に至るも一の忠臣義士無が為に尽ひを分つものなきか。而して知きは国官社稷に死するの秋なりと。群臣官職して答へず、一座暫らく寂然たり。帝怒りて曰く、臣なし。臣は、国の為に死ぬ者こそ国の臣なれと、鄭公の言に所知何今国家危に至るも一の忠臣義士無が為に尽ひを分つものなきか。而して知きは国官社稷に死するの秋なりと。群臣官職して答へず、一座暫らく寂然たり。帝怒りて曰く、臣なし。臣は、国の為に死ぬ者こそ国の臣なれと、

太監の張化は、内官三百人を率ゐて李自成陣門に迎へ、李は自意絶頂を感じて帝位を受け、明朝を滅ぼして帝后の屍を東門の傍に晒す。

生兵、爰に都して国を清と號した時に明の平西伯吳三桂は山海關を守つて居たが、京陥り帝死するを聞き、鄭氏に降りた。其の後間もなく李は敗竹の勢にて攻め寄せたる清軍に怒ら敗られ、遂に定州に敗走した。於是京市の民は五月一日を期して世祖を表敬した。

順治元年と改元し、都を燕京（北京）に定めた。

「吉七十條平東亞の驚者たり朝明も、あはれ北夷の餌り所となつた。

六、鄭成功隆武帝の知遇を受け生母田川氏を迎ふ

鄭芝龍（鄭は鄭松の改名）

相模の高に達はず、学美大いに進み、十五にして師匠の大学に入り弟子員に補せられ、二十一歳に帝其の狀を奇とし、鄭氏の背を撫して曰く、「慨むらくは胡虜に配すべき女なし、鄭氏を喜家に嫁すべし、敢て忘るる勿れと、国姓爺を賜ひ、名を成功と改めしめられた。

時に正保二年（明の隆武元年、清の順治一年）九月であつた。

光昭朗の江南諸臣相賛ぜし、総督馬士英等主となりて福王を迎へた。王監国の位に即いて弘光元年と改め、九月鄭芝龍閩安侯に封ぜられた。十一月清の攻王、師を進めて福州に至し、遂に江南府を攻略して鄭芝龍に引かれ隆武帝に擁して父子龍に捕

臺灣日新報

日本唯一の夕刊共二十頁

（第二種）（昭和十年三月五日第三種郵便物認可）　昭和十四年七月二十七日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千一百三十九號　（一）

治安維持に關する諸問題の審議進捗

第三次圓卓會議で

【東京二十六日發同盟】現地交渉第三次圓卓會議は午後一時二十分休憩、午後四時より外務次官邸に再開され午前に引續き治安、警察問題の討議を行ひ同七時散會した

【東京二十六日發同盟】外務省情報部午後七時三十分發表……第三次日英會談は二十六日午前十時三十分より午後一時二十分まで、及び午後四時より七時まで兩回外務次官邸に於て開催、委員會の報告を詳細檢討したるが將來天津に於ける友好的治安維持に關する諸問題の審議に進捗を見たり、次回會談は二十七日午前九時四十五分開催の豫定である

天津で現地會談

東京會談妥結すれば

【東京二十六日發同盟】日英東京會談が妥結を見た場合、天津現地の治安問題に對する日英當局の具體的協力方法を協議の為、又經濟問題に關する取極の施行方を円滑ならしむるため天津に日英現地會談が開催され日英東京會談の結果を待ちて開催することになるものと見られてゐる

在天津現銀は引渡し實現

デーリー・ヘラルド紙の論調

【ロンドン二十五日發同盟】二十五日の政府機關紙デーリー・ヘラルド紙は經濟的經濟的和政策の擁護とする同紙經濟主筆ダグラス・セール氏の論説を掲げ英國政府は今次の日英會談の結果從來の擁斷政策を清算し天津における現銀を引渡すことになったと述べてゐる、論説左の通り

日英會談の結果英國が日本の支那に關する侵略的諸要求を承認したことはロンドンの極東貿易關係者間では英國が決定的に從來の經濟的援蔣政策を清算したことを意味するものと解されてゐる、即ちチェンバレン首相は下院において對支政策不變を强調されたにも拘らず日英間の新取極は英國の法幣安定資金を通じての支那法幣擁護政策の中止を意味するのみならず天津に於る支那銀を考慮すべきことを承認したものと解される、斯くて經濟的援蔣政策が極東に對する援蔣政策に取つて代り支那銀をクッションとする日英同盟の運命を通じてこれが引渡が實現されるものと考へられる

國府は失望

日英共同聲明に

【上海二十六日發本社特電】東京會談の成行に對して重慶方面では非常な注目と關心を向けつつあるが日英共同會談の不成功を願つて居た國府は國府の失敗を喜ぶと共に國府の焦慮と重慶に於ける反英感となり、馬鹿にされた信頼への怨言と不滿を英國に對してゐる中でも國府内の少壯派幹部は英國の不自由を嘲ひ、

山林行政を統一し 山林局新設を計畫

殖産局より十五年度豫算に要求

本島の林政は山林課、殖林所の二つに分れ更に林野は内務局の地理課、樟木については殖産局と云ふ風に林政は四元的に分立して居り山林行政実施上支障ないのに鑑み、殖産局では林政統一の実現に全年努力を拂ひ、昨年は昭和十四年度豫算要求に盛り山林部設置を組出して認められる筈ならなかつたが、時局の進展に伴ひ特殊の機運を誘致してゐる本島山林の開発は急務となり、集団の大々的利用開発と乘出すに至り、之等林政実施に方つてはその統一をの要とするに鑑み、來年度事業に山林局の二課と外一課（作業、殖林治水）の三課を新設に伴ひ事務官又は技師を以てし、職員は勅任一名（新設）事務官二名（内一名新設）山林事務官二名（新設）技師は現在の人員の外五名を増員する方針である、次に地方には從來の殖林所出張所を殖林署に改称し全島に約十七ヶ所設置し国有林の殖林を実行し、又各州廳の林務係はその管轄殖民林の指導奨励事務を管掌せしめる案である、之が実現せば從來の林業試験機関であつた中新林業部も既に府林業試験所に所属して内容も一変と飛躍を図つて居り、殖産局とは密接な連絡を保つことなつてゐるので、本島林業は林政統一と試験機関の充実により飛躍的発展を遂げるものとして成行注目されてゐる

物資統制強化と 戰時物價統制の徹底

總動員法の各條八月中發動か

【東京二十六日發本社特電】政府は本年度物動計画実行に伴ふ物資の統制強化とこれに制應せる戰時物價統制の徹底を期するため國家總動員法第八條、第十七條、第十九條の各條項を全面的に発動する方針をもつて企画庁を中心に關係各省に於て動員案の立案着手を急ぐつつあつたが、諸般の準備も整つつあるに至つたので、八月中には總動員審議會を開き、右動令案を閣議決定の上、速に發動する運となつた、而して第八條は總動員物資の生産、價格、配給、譲渡その他の使用、消費、所持及び移動に關する廣汎な物資の統制を指定せるもので、又第十七條は價格、賃銀、生産の諸條件に關し同時もしくは別個の事業間の統制協定を定定し、第十八條は第十七條の規定を更に強化する目的をもつて統制組合の強制設立を命令し得る、又第十九條は臨時に於ける物價統制の根本法規で賃銀、運送費、保険料、倉賃料及び加工賃に關し廣汎なる物價協賃の抑制をなし得る事になつてゐる、從つて右の各條項が發動されれば徹底的な物資の統制と臨時物價の抑制が國家総力によつて一層強度化される事となる

硫安價格据置

八月以降の分

【東京二十五日發同盟】硫安肥料製造事業組合は二十五日九、内閣閣に總會を開催、八月以降十一月分の硫安価格を現行通り据置（十貫入二円七十三錢）に決定、當局に認可申請した

配給割當の公平を 肥料組合から陳情

廿六日委員が要路を歴訪

【神戸二十五日發本社支局特電】肥料業者の代表ともいふべき神戸肥料組合は二十五日九、内閣に林政は四元的に分立して居り山林行政実施上支障ないのに鑑み、殖産局では林政統一の実現に全年努力を拂ひ、昨年は昭和十四年度豫算要求に盛り山林部設置を組出して認められる筈ならなかつたが、時局の進展に伴ひ特殊の機運を誘致してゐる本島山林の開発は急務となり、集団の大々的利用開発と乘出すに至り、之等林政実施に方つてはその統一をの要とするに鑑み、來年度事業に山林局の二課と外一課（作業、殖林治水）の三課を新設に伴ひ事務官又は技師を以てし、職員は勅任一名（新設）事務官二名（内一名新設）山林事務官二名（新設）技師は現在の人員の外五名を増員する方針である、次に地方には從來の殖林所出張所を殖林署に改称し全島に約十七ヶ所設置し国有林の殖林を実行し、又各州廳の林務係はその管轄殖民林の指導奨励事務を管掌せしめる案である、之が実現せば從來の林業試験機関であつた中新林業部も既に府林業試験所に所属して内容も一変と飛躍を図つて居り、殖産局とは密接な連絡を保つことなつてゐるので、本島林業は林政統一と試験機関の充実により飛躍的発展を遂げるものとして成行注目されてゐる

先般の全島肥料業者総會決議に基づき書記肥料組合理事西岡業一郎、内田業一郎、安部幸山、田民の肥料組長以下七名は二十六日午前十時より總督府に小林農林部長、殖産局長代理、佐々木産業課長、井田商工課長、木原企畫課長を歴訪して左の如き陳情書を出、國家の臨北州に月水知事、臺北商工者横明、臺北商工者横明部にも陳情をなした

陳情書

現下肥料支那輸出統制の強化強行肥料組合は支那輸出統制の非常時局に際し支那輸出統制と密接関係にある肥料組合の重大なる使命を堅持する為に、本島に於ても肥料の値上を防止し公平なる配給を目的として去る六月二十三日肥料配給統制

【神戸二十五日發本社支局特電】我が國産業の生産は主要地産業の林力の増強のため農産一般、内地インド工業界に顕色を深めすに至り當局では指導層に對する供給要望

我が國樟腦の 生産減と對策要望

増産奨勵と補償の合理化

入植價値が低いため供給業者のつたが、業者は増産奨勵、補償價格の合理化等腦生産の再検討とこれが自給の實現を要望して居る

貯蓄銀行總會

株主の禮讃あつて和やかに

一分増六分配當案其他可決

臺灣貯蓄銀行は二十六日午前十時臺北市公會堂に第二十五回定時總會を開催、總會附金融課より辻畑職員、樂地鶴、明瀬鶴吉、同行より鄭松國取を始め廣田、徐杰夫、梅賢、陳瑞山の各監査役其他出席株主代表任狀共一〇四名、他の株數一九、〇五一株（株主總數二三七名、總株數一万株の内）に達し鄭松國取締役長席に着き、場内至重厳十七時に出席株主らと共に感謝の誠意を披瀝した後、上半期の營業概況を次の如く報告するところあつた

當期末貯金現在高は口數一七二五七二一、金額一〇、〇七七、六六五円にして事變前の昭和十二年六月末に比し七五、六〇七口、八、一五九、〇一五円の激増を示し、本年上半期の貯金増加率に於ては全國貯蓄銀行十二行中第三位を占める實績を收めた、國債其他有價證券の買入合計も之に連れて増加し當期末現在二五、八三三、六五四円（内國債九、七二九、九一五円、地方債一、〇八一、五〇二円）に上り此外一部を生産力擴充資金に支出同行國債に則應して貯蓄奨勵に務めた次第である、手持有價證券の帳簿價額は二五百八十餘万円であるが、之時價に評價すれば優に二千七百万円に達し差引百十餘万円の値上りを含みがあるわけで資産内容は頗る堅実なるものがある、今回當局より一分の増配を認容せられたやうなわけであるが、尚時局に鑑み營業網を更に大に新竹、嘉義南支店開設の内認可を得、中壢外十ヶ所の商組支店に代理店設置の事ことになり、更に彰化銀行とも連絡をつけ彰化支店外数箇所にも代理店を設置の件も昨廿四日の内閣を通過、目下大蔵省へ内申中である、右認可となれば支店八箇所、代理店二十一箇所計三十九箇所となり益々貯金奨励の實を挙げ得るものと信じ當局の御指導御鞭撻と株主各位の御支援の下に貯蓄一層目覚飛躍力一致してその使命に邁進し益公の誠を尽さんと念願してゐる次第である

次で臨時総會は田桑常務の臨時報告を聞き、定時総會は定款第五條、第十四條の改正を決議、解散の件は現在の株主代表者一名を上海に派遣して華商當事者と交渉せしめる事

以上二項を決議した

法幣續落

【臺北二十六日發同盟】法幣安定資金の枯渇に對し天だに資産産元の見込みがつかぬために法幣は暴落の二金を辿つてゐるが當地今朝の最低は二千九弗五十仙に落付いた所今朝の最低は二千九弗二十仙で更に落調が後想されてゐる

法幣慘落と 金融救濟對策

厦門市商會の決議

【厦門發本社特電】【厦】底無しの慘落を續ける法幣は二十二日百円に對し百二千五元と云ふ事態後始めての相場を出したが、鼓浪嶼の外貨側手は一人も残さず逃げ去りたるのマーケットは法幣百元につき香港弗二千弗五十仙に落付いた所今朝の最低は二千九弗二十仙で更に落調が後想されてゐる

東部合同運送 發起人會

創立は九月初頃

器果紡合同運送業者は昨廿日午前十時より同社構内（臺北市本町）に於て昭和十三年度に於て創立された東部合同運送株式會社の発起人會を開催し、出席者は別の業者打合會の申合せに基き二十二日午前九時から花蓮港廨直側所に開會、發起人並に鐘直側からは丸岡運輸課長、東花蓮港出張所長、松下同事、蛭王氏その他關係者臨席、朝日組出資者代表を初め各者代表を挙げて一丸とする東部合同運送株式會社創立發起人會は組織の結成を決定、かねて問題となつたアト炭問題は組合

事變でどうなつたか
英國の在支權益

日支事變勃發以來、英國は直接的問題に入つた訳か眞か嘘のみぞ知る、日本としては英國が傍觀政策を放棄しやうが放棄しまいが、既定方針通り一路邁進の覚悟を新にするのみである。ところで、英國は何かといへば、事変で在支權益が侵害されたから抗議するし、日本は英國があくまで傍觀政策をつづけるならば將來英國の在支權益の安全を保障せねばとアイソチを突きつけるそれなら英國の在支權益はどんなもので、現在どんな風になつてゐるか、事態を正しく認識するために、この点をつくり知つておく必要がある。以下外務省調査部その他の調査に基づき極く簡略に述べてみる。

× ×

英國の在支權益はおよそ次の三つに分けることが便宜であるとされる。

一、鐵道その他の政府直営借款
二、英帝國の割引貿易
三、英資本總營や投資の諸企業

先づ第一に政府直営借款はどうなつてゐるかといふと、在上海の有名な経済的評論家カーン氏の調査によると（一九三八年七月二日現在貨位千圓）

甲・財政部所管

鐵路借款	二一六七五
鹽稅借款	一六三三〇
關稅擔保	六八六六
隴海人會保	四四八六
合計	二六〇八一

乙・鐵道部所管

總計	七〇九四三

これは国民政府の外債中國際の總額で、このうち英國の保有債は三千二百八十万千圓、他は英國以外の担保分である。このほか鉄道部所管の元建公債中英國の担保になるものが六百三十二万元ある。元をこ一シルニパンス十六分ノ五とすれば三千七万千圓となる。

（國際陸路運輸後金）さらに二億が國際陸路運輸後金の保証となつた額が六百三十七万五千圓（レート一圓後一九三〇年調査）ある。

× ×

ところでこれら外債の元利償還は果はどうなつてゐるかといふと、国民政府は最初自信無理して支拂つてきたが、つひに本年一月十五日元利償還は以外債の支拂を停止した。ただ、その日までは擔保分は日本のために封鎖されたから關稅收入は僅かしかなく、關稅担保外債支拂は支拂ふにも支拂へない、次に鹽稅担保分がある。これはすでに昨年九月廿八日元利償還の暫時延期申明となつたが、本年三月廿六日、國際外債全部につき償還外債委員會を立てたが、支那の事變解決地なる長蘆（河北省）山東、海州などに中華支の全権借款は日本軍に占領され且つ封鎖が長期化を疑断されるゆゑ、國際收入は無きも同然だからこれも支拂停止に近い。

第三に鉄道借款の方は、非占領地の鉄道だけは元利償還することになつてゐるが、実際には大部分が日本軍に占領されるところは僅に粤漢線の中間部と滬九線の大半ぐらゐだ。まだこれらとても支の海口が終点既にその要所が日本軍に占領されてゐるから鉄道借款も大部分は元利支拂停止にあることは明白だ。

× ×

以上によつてもわかるやうに英国の割引貿易財借款は今言以來殆んど全部元利支拂停止の状態にあり、されば之を英国は在支權益の破壊を強調し、國際的に最後のあがきをなせたのであるが、事変はなほ進行中なのだから、一時支拂停止状態にあるのは已むを得ない次第で、これらの借款が新政權と協力して経營するにしても英国の投資をソックリ無償でとるやうなことは有り得ない。何とか整理される合理的な解決をみることだらう。尤も英国がかゝまでも國際政策を貫ぬき、日本に敵性を示すならば獨逸はどうなるかわからぬ、この意味で英国としてはもはや中央政權たる得ない新政權に何時迄もへばりつくよりも早く新政權に協力することが最も安全な道であらう。

次に英国の割引貿易はどうか。

輸入品は減少したが、輸出は増加して事変前のものに大きな開きをしてゐる。この輸出増加は主として香港間のもので事変前のまさに二倍以上になつてゐる。これは香港が第三国として活躍したからである、つまり事変前の易を下つて上海に集まつた物資がその後大部分奥地線を通じ又は重支沿岸を通じて二國香港へ集中し、ここで適当な船の船積をへられて輸出されたからである。

× ×

だから事変中といへども英国の支那貿易業者は全體として決して打撃を受けてゐない、但し汕頭その他が日本軍の手に入つたことは香港の補助港を失つたことを意味するから今後打撃となるかもしれない、それにしたところで香港のあるかぎり英国は安全である。事変後本年までの一月から四月にいたる割引貿易は左の通りで事変による影響はすくなくてゐる（千金貨位）

◇輸入

英本國	一七六年	三八八年	一九七年	三九九年	一九六年
英帝國	一六一四	一三一六六	九一三六	一三一六	七七一
總輸入	一二六六	一四六六	一三一六	一七七一	一六六六

◇輸出

英本國	九一三四	五一七四	六一六四	五一七四	六一六四
英帝國	七一六四	四一八一〇	四一三一	一三一六	一六一六
總輸出	二六一六	九一六四	一〇六一六六	一六一六	一六一六

× ×

最後に在支企業はどうか、この部門は英国の割引貿易活動の重心といふべきである。リーマー教授の調査によると、一九三〇年の企業投資は四千六百四十万磅、同年の英本国の割引輸出入額は合計千八百四十六万磅となつてゐると、ころからみても、企業投資の占める地位は判明しよう。企業投資の内容は左表の通りである（金位百万磅）

貿易及一般商業	四九一五	三七%
製造工業	四一六一	三一
運輸交通業	三五一九	二六
金融銀行業	一七一九	一〇
公共事業	九一九	五
雇業	四〇	二
其他	三一	一
合計	一七一九	一〇〇

× ×

ところで在支英国商社の数は千餘の多きに達してゐる、めぼしいものを拾ふと、先づ貿易及一般商業では、香港の高級百貨店レンドボードは、今年の二月末決算で二千四万六千香弗の純益をあげ前年より六万千香弗の増益を示した、これは輸入貿易が激増して賣上げがふえたからだ、上海でも鐵利公司といふデパートは非常な儲けをあげた、天津店でもいろ〳〵問題があるのに常営業だとうである、ただ最近の法幣の暴落は相當影響手あるら、百貨店以外で石炭取扱業者や米綿輸入兼製糸業者（鐵業行有限公司）は商品の値上りで昨今から本年にかけて大分儲け、既時中の損失を償つて余りあると稱されてゐる、又工地建物では上海の華界経営の如く郊外河以北に財産を持つてゐるものは地代も家賃も上らんので赤字を出してゐるが「租界内」にあるそ動産の値上りで利益を挙げてゐる、何れにしても上海あたりでは既に事変の打撃は頂上を越した。

× ×

其他製造工業では華名英美煙公司といふ有名な英米タバコは事変爆撃への儲けで昨年度は五百五十九万磅の純益をあげて年二割の配當を行つたし、又同じく有名なジヤーデン・マヂソン・コンパニエルンの一環たる怡和紡織公司の如きは去る四月末の總會で、事変中にもかかはらず一九二一年以來の最高利潤をあげたと、――報告し、年五割といふ配當を行つたから驚くべきこと、これは全體の綿絲布生産の激減に相場が暴騰したからである、最後に運輸交通關係でも、印度中国郵船公司、中英公司等は大したことはないが、租界内のバス乗業たる中国公共汽車有限公司や香港にある九龍倉庫などはよい成績をあげてゐる。

× ×

慨していへば、英国の在支權益は事変によつて打撃を受けた部面ももちろんあるが、他面黒字なる部面は変態的な好況を呈げてゐるものもあり、英国が喉をからして在支權益が破壊されたといふのは決して當つてゐないことを知る。

支那事變の將來
（一）★……陸軍省情報部

二周年までの戰果

不徹大方針による軍事行動の希望を兼て、已むを得ず全面戦争に發展した国は、御聖威の下に挙国一致の國策を頂めて聖戦に邁み、皇軍は赤誠溢れる銃後の後援を、けつつ聖に南北に亡に偉大なる戦果を收め、之に併行する建設の重業をも著々進めて居ります

即ち現在迄に皇軍が挙げたる支那側に與へた損害は兵員に於て、死傷、捕虜、逃亡等を合せて二百三十万人に達し戦利品も赤莫大の数量に上つて居り、占領地域は實に帝国の全面積の二倍に餘り、此の中に在る支那良民及び國軍民は一億七千万人に及び、所在石の勢力圏内にある人民の数よりも遙に多いのであります、而して此の地域は所謂支那の中原であつて、政治、經済、文化等の主要都市の大多数とを擁し、水陸交通の要路とを抑へて居ります、即此の地域を包んで敵軍と相對峙する戦線の長さは実に三千六百好々九百里に亦り世界大戦に於ける聯合軍の西部戦線の二倍以上に達しています、又海にあつては我が長期皇軍の作戦によつて支那艦船の大部を撃沈し、長大なる海岸の封鎖を完成し、制海権を我が手に收め了居ります、更に空に於つては、敵側に與へた損害は撃墜及び地上破壊を合せて二千億機に達し、制空権を我が手に收め敵の空軍をして到底我が内地への侵入を許さざる迄に至つて居ります

念よ本格的國家總力戰へ

日清戦後、日露戦後、日独戦後、第一次世界大戦と、我が帝国の国力とこれを国家の興隆を賭しての戦であつたが思想や経済は未だ国力戦を支持するに止まり、之によつて直接攻防を行ふことはなく、武力戦の前利は直に戦争全局の勝利であつたのであります、際会に世界大戦以來戦争は其の規模に於ても方法に於ても大なる進化を遂げ、思想、経済、政治、外交其の他一切の方面が之の変動に参加し、從つて老幼男女の別なく一切の国民が戦力として働かれねばならぬことになつて來ました。即ち國力に於ては所謂國家総力戦となつたのであります、武力戦に勝つても此の総力戦に勝たねば戦争の勝利とならないのであります

此の様な意味で、今次の支那事変は止しく國家総力戦であります若し此の事変に國家総力戦の不敗大方針で臨み出來たならば、勿論最悪的な武力戦であります が更に全面戦争を決意した後に於きましても「支那軍の無戦を廣懲し東亜政府の設立を促す」といふ帝國政府の表明の趣旨で、南京陥落の頃東亜戦争が解決したならば、主として武力戦の戦果を以て東亜全局の安定の利となり得たのであります、然るに事変は之等の方法で解決せず、本格的な長期戦に移り、抗日國民政府の民衆の見込みもないので更に新支那の建設に協力し、更に東亜の新秩序建設に邁進するに及んで、愈々本格的な国家総力戦となつて來ました、何とされば抗日支那の企圖する所は第二国の支援の下にゲラリ戦争の方法によつて長期戦を敢行し、之によつて日本の長期戦を敗北し、之によつて日本の国内思想の分裂等に乗じ第三国の干渉を誘りて日本を敗戦に導かんとするのであります、之に対して我国は何うしても長期戦となり国家総力戦とならざるを得ないのであります

即ち帝国は次の様な諸方面に亘つて国家総力戦を敢行しなければ今次の支那事変を根本的に解決して所期の目的を貫徹することが出來ないと考へます

眞の敵は英國だ!!

日支事變は東洋の内亂に過ぎぬ。この内亂に干渉して日支を今のどん底に追ひ詰めたものは、第三國、特に英國である。

日英東京會談が!!

決裂しても、しなくても、最後は日英の實力の問題だ。打倒英國の肚がなくては日支事變は解決しない。

日英若し戰はば!!

日英戦争は先づ海軍の戦争だ。ここに新嘉坡の重要性がある。新嘉坡なくしては英國の極東作戦はないからだ。

日本は斷じて勝つ!!

池崎氏は人も知る日本一の海軍通だ。本書に、英・佛・蘭の協同戦略、米國の立場、英米協同作戦を詳述し餘す所なし。

天命既に定まる!!

敵を知り、己れを知るは、兵法の極意だ。日本興亡のこの際この時、日本國民一人残らず、英國の極東作戦とその據地新嘉坡を究め、日本と英國の天命を知れ!!

のしずら足にる怖國米
部万五版初・作妹姉
戰作東極の國英
地據根坡嘉新
ルーポ・ガンシ
池崎忠孝 書き下し
寫眞版・地圖十六頁本文三百八頁
定價一圓六十錢 〒十錢

日本最近對外政策論攷
池崎忠孝著
（菊判七〇〇頁）
定價四圓五十錢 〒卅錢
滿洲事變以後の日本の對外的動きを縦横に批判し、其の理想と現実性を高揚せる大池崎の世界的大著述である。
東京市目黒區下目黒一丁目三七二
振替東京二七三三
第一出版社

目次大容
第一、大戦前夜の新嘉坡
第二、古都の復興
第三、新嘉坡論爭
第四、計劃と實行
第五、地理的觀察
第六、錨地と要塞
第七、海軍基地の内容
第八、背後地の價値
第九、戦時の經除勢力
第十、防禦力と跳躍性
第十一、英米の協同觀念
第十二、香港の運命
第十三、協同作戦の實際
第十四、日本の不敗性
第十五、決意と實行

空に殘れる

尾崎士郎作　高木清畫

（第十五回）

最初の嘘

「それで」

といってから、信作は急に和いだ調子になって、

「どうしたんだい？」

ぜんこんなことを訊いた。

「函つちゃったよ、――そのへんでお茶を飲まうといまそんなんだから遅くなるわけにもゆかないしついていったのよ」

「ほんとうかい？」

信作の眼が急に鋭しくひきしまってきた。「実はおれも昨夜かへらなかったんだ」

「さうなの」

信保子の顔があかるく輝きたしてきたのである。

「何処へいってるらっしたの？」

「おれの方よりも、――それで、どうしたんだい、お前は？」

「どこにるるかといって新妙く嘘くもんだから、あたし、いいかげんなことを言っちゃったのよ」

「それ――？」

「お母の方も、ちゃらっぽこをいつてゴマ化しちゃったの」

「どんな風に？」

「何だか目がでもわかんないわ、――そしたら、今夜行くといふ」

「でも、あのひとのことだからきっと探しだすかも知れないわ、あたし、神田の「ゴールド」といふ店にるるといつちゃったの、嘘つてなかなか言へないもののね」

「それはいいさ」

信作は不快さに烈しく髭をゆすりをはじめた。

「それよりも、何処で泊つたんだい？」

「いやよ、――そんな怖い顔をして、嘘字を立てて詰さなきゃやわんないやちゃないの」

伊保子は甘えるやうな眼で信作の顔を見上げた。

「そのまま店へ行ったんだけど万一あんたに迷惑がかかっちゃいけないと思ったもんだから、あたし十時少しすぎに組長の星野さんにあとをたのんでお店を出ちゃったの、――一べんかへらうかと思ったんだけど時間がもうおそいでせ、いつそのことお父さんにわけをはなしてハッキリしちゃった方がいいと思って馬込まで行っちゃったのよ」「馬込まで？」

「えゝ、――どうしてそんな風になったか自分にもわかんないの」

伊保子の生ぬるい息の中に酔えたやうな匂のにほひが泌みこんでゐる。

――信作はとげとげしい声で、

「おい、嘘をいふな」

「何かさ、――？」

「馬込の家で一晩明かしちゃつたのかい？」

「お父さん、ひとりでお酒を飲んでるのよ、――それが何といつてもわかんないし、だから、あたしもかんかんに怒つちゃつたのよ」

「それで、お父さんと二人で酒を飲んで夜を明かしたのかい？」

膝の上でにぎりしめた手がねつとりと汗ばんできた。伊保子は、昨晩のあひだに不穏な過ぎをかんじたらしく、そのまま上唇を噛みしめたまま黙まつて眼を伏せてしまつた。

科學

飛行家と頸

米海軍齒科醫の耳の故障の研究

高等飛行に一つの惱み

中戰や民間飛行士の妙技を演ずる高等飛行には操縦士だけの味は大きな困難がある。殊に烈しいといふばかりが、假等の飛翼ではない、超スピードによつてはれる、アクロバシ（特殊飛行）の生命を賭けたスリルであり、そこには驚愕に値する操縦士の微妙な技術が物を云ふのである。

アクロバシを長く続けた後では民間飛行がでも一時の間は驚になつたり眩暈りが生じたりして酔つぱい氣持になるのが常道である。この不快さはアクロバシ飛行の後での軍人飛行士も同じで、この原因は何かといふと、嘔吐と中耳とを結ぶ「ユスティアン管」が、特殊飛行の変化に伴ふ耳壓を調節出來ぬからであることは既に久しく前から云はれた。

ところが――最近アメリカ海軍齒科醫たる、ウイル（ヘルミー博士）が米海軍へ申告した処によると、かゝる場合耳の故障は比較的老年の飛行家に多く、その試は普通園が消耗し損失して頭顱の位置がずれて「ユスティアン管」の部分に亀裂を生ずるからと指摘してゐる。そしてこの治療方法としては人齒を入れたりして顱をビッタリから合す様にすればいいといふのである。

米海軍で早速これが実地檢査を行つてみた処同博士の發見は正しい事が実證され、しかも從來よりも簡單な治療法の發見を発表したものとして目下話題をまいてゐる。つまり五四〇名の飛行家に對し実驗したのであるが、其中四八三名は驚に負擔があり、殆んどそれ等は驚慣老年であつた。而もこの四三名は耳に故障を持つてゐたことが判つたのであつた。

×

アクロバシ（特殊飛行）のスリル＝語源＝、反轉、急轉、直轉、上昇、降轉、宵面飛行、横轉、横轉、宵面、驚嘆みといつた様にその結字一変化なるものがあり、皆に新中戰などで未曾有の驚嘆が目覺ましい一の発法として果敢な冒險をなすものである。敵より高く、高く昇して相手に間髪入れぬ攻撃を敢行するには、この耳壓問題が何といつても勝利の鍵である。しかし力を受けて驚嘆が目覺ましい活躍する飛行家は非常な努力と運心動を異へるものである――事をこに附記して置く。

結核三千年

（上）◇醫◇學◇斷◇片◇

――ヒポクラテスといへば古代なギリシヤの醫師者であり科学者であるが、今から二千三百年前の人、この人は醫學の開祖と云はれてゐる。その著書によると、すでに結核のことが書かれてゐるのだから、人間と結核との関係も深いものがあるといへばかりではない、もつと以前からあつたもので、エヂプトから發掘されたミイラの中にも今日の醫学から見て結核と推定される症候を持つた古屋遺骸が発見されたのである。

博士古屋遺骸、法學博士村松法學博士末弘嚴太郎、醫學博士床崎醫學士、陸軍省軍務局長陸軍軍醫中將三宅良吉

【九月二十一日～九月四〇】時報（東京）阿波鳴門十郎、兵隊、隠家の段…加藤三吉劇

【一〇・〇〇】福岡劇ニュース

【一〇・〇〇】放送局編輯ニュース、公示集告知事項、時間點檢ニュース、公示集告知事項、時報、明日の放送番組の發表（各局）

【一一・一〇】臨時官報ニュース

【一一・一五】正午の時報（東京）公示集告知事項

【一一・一〇】臨時官報ニュース

【一一・一五】正午の時報（東京）公示集告知事項

【〇・〇〇】東京時間時報（レコード）藤吉義一・動物園（村越國保編曲）越後獅子（同右）日本ビクター和洋合奏團、アコーディオン編奏一野崎村（長内晴樹曲）新内流し（同右）長内晴、思い出曲集（小菅正雄編）小菅正雄、アコーディオン合奏、太平洋行進曲（長内晴樹曲）東京スタンダード・アコーディオン・クラブ

【〇・四〇】ニュース

【一・〇〇】臨時官報ニュース

【一・四〇】ラヂオ體操

【二・〇〇】ニュース

【二・三〇】福岡劇ニュース

【四・〇〇】臨時官報ニュース

ラヂオ

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、朝の音楽（レコード）演唱：マリア・ローランド、ポル公（民謡）、管弦楽一大洋の夢（ケンゲル作曲）、パンス・ブントの管弦楽、リュックサック同（ケ・ネディ作曲）ニーリッヒ・ベルクシュル管弦楽團

【七・〇〇】朝の談話（京都）藤居（七・二〇）唐詩と作る平田潤吾（七・二〇）唐詩文化講演（東北）

【九・四五】家庭婦人講座（東北）

【八・〇〇】ニュース

【九・四五】家庭婦人講座（東北）

【一〇・一五】家庭料理講座（東北）

家政女學校（同左）、朝の海（埴一はんべんの海）三三郎子の家庭料理（番組のみ）道頓堀家政女學校川宮家

【一一・〇〇】食味（取引相場）（東北）

【一一・四〇】時間（東京）

【一一・五〇】時間（東京）

【一一・五〇】時間（東京）

【一一・五

中央山脈横斷は能高越えが有利

八通關越えに

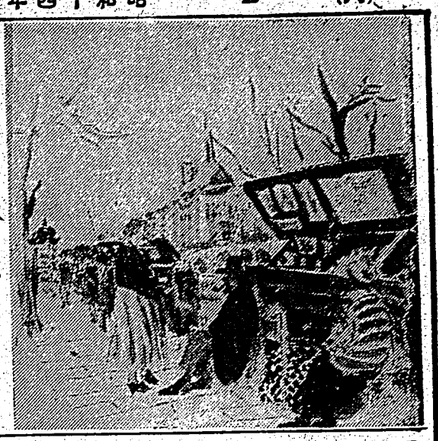
再檢討論地元に起る

【花蓮港電話】目下総督府に於て計畫中の能高越えに關する調査に依る花蓮港廳から台中州を連結する八通關越台中州に通ずる道路としては能高越えが有利なるとの所説が強く、或る方面の調査に依ると八通關越の道路は花蓮港廳下里より台中州

【台中電話】台中市では二十五日午後七時から市役所に於て開催の市議會に於て、市長の提案した市税賦課徴收の件、市有財産の處分の件、市有財産の取得の件、市有財産の管理の件、市有財産の使用の件、市有財産の賃貸の件、市有財産の交換の件、市有財産の譲渡の件、市有財産の信託の件、市有財産の出資の件、市有財産の負担の件、市有財産の処

生方敏郎氏の「源氏と平家」

西川滿



日本の歴史をひもといて、誰もが興味深く感ずるものの一つに、「源氏」と「平家」がある。私なども、小学五、六年国史を学んで以來、夢をそそりたてられては少年の血を沸かせたのは、実に源氏と平家の、栄枯盛衰、波瀾万丈の歴記に他ならぬ。

中学の入試に合格して、お祝ひに買って貰ったのも、やはり頼山陽「日本外史」の源平盛衰記であった。敵へ敵へくの栄枯、わか武八幡太郎義家の偽ひつつ勿来関を通った時、携へたのも他ならぬ「平家物語」であった。

まことに、それが源氏や平家の血を受けてゐるとゐないとを問はず、日本人であるならば、いつどこで、誰んでも、この二つの武門の弱び性、誰も人の心にちかにせまるものがある。

○

ところで、私の祖先が八幡太郎である以上、私が源氏びいきたるは当然だが、然し源びいきも平家にも割しても、はかり難い情が寄せずには居られないのである。もともと勝ったものが、負けたものを慕く書くのは、どうもやむを得ない人間の弱味で、たとへば明治年間に現れた維新史が、否世に一つの歴史の御用史に他ならず、甚しきは、勤王の志士ばかりし賛美源氏を拾平家保公を賊の巨魁の如く書いたものさへあり、偽善維新ならずとも歴史を愛する心ある人間ならば、賊ぜざるを得ないと同様、義経盛衰所以後に現れた加賀の殆どと部が偽源の書であることに気つき、源平二家の正しい国史の出現を、ひそかに待ち望んでゐたところ、それに答ふる如く生方敏郎氏の「源氏と平家」が公刊された。生方氏はかの大震災の翌年からこの研究に着手したのであつて、この本書は源氏の御用史であらうことは想像するにかたくない。

国民をあやまり、歴史をあやまること、これより甚しきはないと云つてよからう。

○

鶴ち、長ずるに及んで、徐衆の実者、偽善が、実は源氏のための

は、先づ治承四年五月二十六日付食院の御則旨賜、源頼朝の旗上より木曾義仲の蹶起、養和二年正月二十日までの満三年九ヶ月の事跡が敬めてあり、これだけの執筆に比は満五ヶ年を費してゐる。以てその苦心知るべきであるが、今、著者が如何なる書を根拠としたかを調べるに、

在来の史書は殆ど捨て、採るにしても、愚管抄の如き当時生存せし人の新説を用ゐてゐるが、主として公卿の日記を材料としてゐる。即ち九條兼實（右大臣）三条実甲山大納言の山槐記、吉田中納言の吉記、藤原兼実右大臣の玉葉、藤原定家右京大夫の明月記、健御前の日記等を参照し、

に比較を見ざるところであらう。また一門は別として、盛衰記の栄枯盛衰、壇ノ浦に敗れながら、壇の浦までついて行った、その心情の美しさを、我々は見逃してはならない。

○

生方氏の「源氏と平家」はいく度読んでもあきない。この二大武門の興亡を、正しく、しかも流麗に描けるもの、本書によつて、読者は、興味の中に、真の武門の姿をつかむことが出来よう。地図、系図、年表、年號表、源平歴史年譜等あり、パラルビで読みやすい。（四六判布装六五四頁、四・〇〇）

青龍刀

時雨女史の精勤ぶり

▲呼く歴史といふ国際的名作家をひとまとめに国際的に認せしより、こんど協力して在佐文化戦線にたちはたらくと決意したが、その間長さんの長谷川時雨女史の精勤ぶりは若い女性をアッといはせるほどで戦時下の女性たる面目躍如たるものがある

▲先日も事務所に集まった若い作家のあたまを絞なでに見下しながら、雀の巣はゐませんかと、

しろ〜〜みつあるので、電影部長安史や宇野千代女史などちら上いとバーマネントのまねごとみたいな髪好なのでん髪をピクピクさせたが、まるなんなく通過した

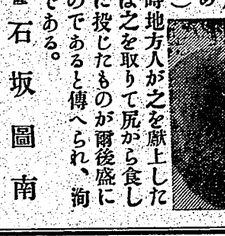
▲しかし、時明女史の精勤ぶり、服飾統制ぶりがちときびしすぎるといふので一方に批評の眼、己長谷川さんの歩きぶりはすこし色街好みと、あの眼少し伸してやらなければいかんワ」とかあのひとの頭かもちがをすぎるわ、ムダはふくべきだワ」とか、まことに口うるさき女性どもである

筆がき隨

國聖貝

國聖貝は本島の極北基隆郡瑪鍊溪に棲むたにし科丸田螺？の一種で、大きさは普通の田螺の夫より少し小さく、色は黒い、胴部腹部から扁たい足を出して匍ひ歩く事はかはりはないが、唯彼が背負へる貝殻は大小老若何れも完全に其尻がやぶれ、中身を現はして居る、これは其昔鄭成功が基隆港より蘭人を追ひ拂ふ軍旅を整ふる爲め國聖埔（地名）に上陸した時地方人が之を献上したと成功は之を取り尻から食し其殻を溪流に投じたものが爾後盛に繁殖したものであると傳へられ、洵に珍なる貝である。

基隆 石坂圖南



どもまた後日河合氏の『梁碑秘抄』等をも資料に用ぎ、年代記としては前者秘抄を採用、鍾食氏家の事は『雪堂叢稿』に譲るなど。

その叢稿は甚だ厳密である。

しかも、この正確なる史実に加ふるに、あくまでその表は大衆本位で、冗然一大輝彩をもたらす如く、噛みだしたら、終りまで一寸やめられない程の面白さがある。

○

この土地に古い人から聞つてゐるであらうが、後藤民政長官夫人が曾長となつて自費婦人事業費が設生した折、官民有力者による基金募集の文士碑みたいなものがあつたが、その時私の大伯父秋山義一が満鉄に拠し、当時本社社長であつた石塚英蔵氏が満鉄になつて大碑を建したことがある。そしてその資金は長く大伯父の洋間にかかつてゐた。私が六つか七つの時の記憶である。

私は『源平』の歴史を思ふとき、いつもこの碑を思ひ出すのであるが、さもあらばあれ、本書を繙きながら結局のために大十四をもつて死んで いつた清盛、清盛を失つた平家一門の栄枯盛衰を偲ぶとき、時恐にさせずにはさらを得ない。しかもかかる源平盛衰に際しての宗盛の見識と見識は、世に国史上他

批評と紹介

◆丹羽文雄選集（第二巻）（古谷綱武編）丹羽文雄の短篇の内、現代都会の男女の、さまざまな交渉を巧みに描いた、「三日坊主」「文学」「野性時代」「山の手」「二人の死と師」「子宝秋花」「復讐」「三女の俳優」「幼い密約」「九歳」を収め、これに編者が解説を加したもの、密度の面を強いて人気のある丹羽の特色をうかがふにはよい小説集である。尚巻末に、執筆年譜年譜が収めてある（四六判上製二四八頁）・八〇（東京市四谷区北伊賀町一二 竹村書房）

◆年記念論文集（附博物館）（東京市世田谷区駒沢町二二 自七六五古人今人社）

◆創立三十論文集（附博物館）附博物館の創立三十年を記念して、特報した論文集で、一鼓浪庵の梅物目録（小川尚義）（菊判上製四二二頁）・〇〇（東京市麻布区六本木八丁目五六番地 東京市麻布区六本木八丁目五六番地）

淋病

基根の療治

近代医化學の躍進

革新療法確立さる！

近世醫藥界に齎らされた一大業績は化學療法劑の出現である。從來如何なる方法によるも治療困難とされた化膿性疾患、特に淋病に對して化學療法は、短期治癒の新活路を展開し近代醫藥化學の躍進を遺憾なく明示してゐる。

本劑パロール錠はこの化學劑の代表的純國産品トルダーを主劑となし、特殊厳製された最新の化學尚治淋劑にして淋病治療上、用法の簡易、効果の優秀卓絶せる點など汎く臨床醫界より絶讃され、今や淋病治療上に於ける最新療法として壓倒的聲價を昂めるに至つてゐる。

独得藥理の發現！

内服による…短期根治

パロール錠はその品質、組成に幾多の特質を有する最高純正藥にして、類似藥の如く大量服用による胃腸障害、發疹等の副作用なく、少量の内服により容易に治淋が達成される。

即ち特に排膿、疼痛激しき急性、亞急性淋病には、一日三回一回二錠づゝの服用により三日乃至六日にして止痛、消膿、尿清澄の快適なる短期治療を齎らす事が確認されてゐる。

更らに根治に急速を要する場合は、特殊強力療法として本劑パロール錠と共にパロール球の併服を推奨する。この二藥の相乗作用により擴大強化された獨得の藥理効果は、他の如何なる單一藥よりも優越し、淋毒に起因する諸症狀に對して絶妙なる醫治を營む。即ちこの併用によるパロール療法は、現在治淋界に簡明なる短期根絶の新分野を開拓せるものである。

パロール錠は鮮、麦、滴、支の有力藥店にあり。品切れの節は特約店又は最代藥店へ御申込あれば幾度も。

藥價 三圓 五十圓

注意 パロール錠とパロール球を併用する場合は、錠を毎食後二錠乃至三錠宛、球を二球宛午前、午後の中間二回に用ひられたし。

パロール錠

京都帝國大學 化學研究所嚴製

本劑パロール球は、治淋上著名なる殺菌劑『銀』を超コロイド化し、之に銀痛利尿劑の優良白檀油を特殊結合して始めて内服化を達成し、二藥物の綜合藥効を協有せしめた最高権威の治淋藥にして、一劑にしてよく多角的醫治藥効を發揮する。特に慢性或は婦女子の複雑なる淋毒性諸疾患に獨自の著効を奏するを以て重用されてゐる。

類似藥なし

特許 パロール

製造元 Ⓨ 應用製藥株式會社 東京市神田區錦町

総代理店 大本合名會社 東京市神田區錦町

支店 大阪市東区淡路町 北京東安門大亨藥店

南支支店 南京支店 上海支店 天津支店 青島支店 大連支店 奉天支店 新京支店 牛莊支店 營口支店 安東支店 撫順支店 丸善藥品 山善藥品

▼パロール球は日本内地及び鮮、滿、支の各地有力藥店にあり。

藥價 一圓八十錢 三圓五十錢 五圓五十錢 十圓

BT3—19

ヨウモトニック

汗と汚れの不快なる頭臭はサッパリと一掃され…

獨特の爽やかな薫香は、心身に一段の緊張味を與へずには措きません。

フケかゆみに

病的抜け毛に

若禿の好轉に

定價 小瓶 〒1.45 大型 〒2.45 壜用 〒6.30 外に、デパート型あり

東京・室町 三共ビル

総販賣元（三共商系）泰昌製藥株式會社

Sankyo

よく落ちて、毛を愛ふ ヨウモト洗髪液

どんな油でも落ち、毛を傷めず、フケを去り毛を愛ふ新発見のオイルシャムプー料です。（大壜百円分・月三十百分）六〇錢

汗を肌おむば

化乳空眞の一唯界世

爽やかに清掃する

新發見の

脂性にも好適

潜在乳化力

ムーレクドルーコトーレ

大角、寺内の兩大將 きのふ臺灣に立寄る

井坂氏も共に渡歐の途次

【基隆電話】南端のニュールンベルグにおけるナチス第大會に參加し、ついでイタリーのローマ進軍記念日祝賀に參列する御邦へ、の保かしい使命を帶びた臺灣伊東武官の他邦代表大角岑生大將、醍醐代表寺内壽一大將、財界代表井坂孝氏、東京ガス社長、および大角大將に隨行する、わが台北第一中学校出身の軍令部員小野田治次郎中佐その他隨員六氏一行を乘せた郵船歐州メール丸は二十六日午前十一時基隆入港の豫定が遅れ同日午後一時基隆港外に碇泊入港、伊東武官一行は港に移乘した。ランチで港口まで出迎へた小林基隆警察部長その他新聞記者團が直に丸に移乘すると寺内大將と井坂氏が三人揃つてAデッキに立ち出ながら南国標点の基隆港を眺めてゐる、三代表とも今日は夏服の軽い出で立ちだ。黄白色の帽に下を覆ひ入れた大角大將、白服色の上下背廣に濃紺地のネクタイを著けた寺内大將、白麻の上下に麻ネクタイの井坂代表の三巨星がお揃ひの白帽を傾いて海風に吹かれながら上陸の寄航だ。先づ小林警察部長の案内で記者團が三代表を取り

卷いた

どうしても台湾には立寄らなかつたんだから公平にお鄭成功の寺内大將に記者團の一同が向けられると「先輩の大角さん」と敬愛すれば、大角大將は「いや台湾は寺内君だと」と謙ず「御愛顧はとつめかけると」寺内大將は

「何でも、上海でも、何處でも台湾はなかつたんだから公平に何もないよ」

"問ふに持つて行く上海か"大角大將は笑ひながら「聞かれたから行くだけであつて廣州も何の用意もないよ、無から有を出せといふのかナハハハハ」と朗々大笑する。かくて間もなく福田海軍武官について原田軍司令官、粟飯原基隆警備司令官、酒井台湾憲兵隊長、隆原憲兵隊長、明後基隆警備隊長、さらに堀井基隆憲兵分隊長、さらに

續いて

総督代理中村警務官、山際内務局長、戸水台北州知事、西村州警察部長、桜山基隆市長など次々にランチより本船に移乘して挨拶を交し、其の間、前台湾軍司令官として今高長の歓迎を一身に集めた寺内大將はことの外懐しげに港内外を眺めながら

"お社廣島にも寄つたナ"

など心情を吐露してゐた、かくして各代表および隨員一同を中心に多数

出迎へ

の人々もともにサロンに會、原田軍司令官より、御安者をお祝ひ申上げます"と挨拶に次ぎビールの乾杯があつて後一行は「ヒロドリ」丸に移乘しメインマストに大將旗を掲げて本船を離れ後一時二十五分商船樣に優に著き直に上陸の上、鄭重、婦人團體その他多数出迎の各代表は一々答礼しつつ自動車に分乘して同一時四十分台北へ向つた

臺灣神社に參拜

草山の貴賓館で少憩

明後基隆警備司令官は南大將にとつても実に懐深いものがあつた、寺内大將は明治の遇り前台湾軍司令官として去り去つて臨席大臣、北支方面最高指揮官と殿下の皇国日本の大任を担ひ、為し済ませて晴れの凱旋使命行の途次、郷住地の台湾に立ちあつた訳で記者が"懐かしいでせう"と切り出せば"懐深い無限だ"を連發する、すると傍らから大角大將が"懐の方が深いぞ"と横槍を入れて"さうだなあ、四十年位の前だつたか明治二十四年だつたと記憶するが軍艦淺間で北白川宮大記殿下のお伴をして台湾にやつて来た事がある。然し其後それつきりだからな、殆と記憶はないが"といふと懐深さうに

"懐深いものがあつた"

と記されてあつたさうだ。粟飯原

國賓

として獨伊に使すべく渡歐中の大角、寺内兩大將と井坂孝氏及隨員の一行は一十六日午後一時三十五分山際内務局長、中村警務官等の案内で島都に入り真先に台湾神社に參拜したが、お鄭成の寺内大將は、「ほう勅使街道はえらい廣くなつたナ！」と神官を捉へてなつかしげに聞つてゐた、一行は直ちに北投を経て草山に向ひ三時過三代表は貴賓館に隨員は同別館に入り休憩したが大角、寺内、井坂の三氏は間もなく小林総督、

臺北を訪れた訪獨伊使節一行

寺内陸軍大將、井坂財界代表(中)總督官邸に於ける歓迎會(下)三板橋の故三好徳三郎氏の墓所に詣でた寺内大將

(上)臺湾神社に參拜＝前列右より大角海軍大將、

昔の部下に迎へられて 感慨無量の寺内大將

大角大將は四十年ぶり

【基隆電話】大角、寺内兩大將の台湾寄航は兩大將にとつても実に懐深いものがあつた、寺内大將は明治の遇り前台湾軍司令官として去り去つて臨席大臣、北支方面最高指揮官と殿下の皇国日本の大任を担ひ、為し済ませて晴れの凱旋使命行の途次、郷住地の台湾に立ちあつた訳で記者が"懐かしいでせう"と切り出せば"懐深い無限だ"を連發する、すると傍らから大角大將が"懐の方が深いぞ"と横槍を入れて"さうだなあ、四十年位の前だつたか明治二十四年だつたと記憶するが軍艦淺間で北白川宮大記殿下のお伴をして台湾にやつて来た事がある。然し其後それつきりだからな、殆と記憶はないが"といふと懐深さうに

"懐深いものがあつた"

と記されてあつたさうだ。粟飯原

明後基隆警備司令官は南大將にとつても久しい部下で郷りしした頃思い、エピソードがある。粟飯原司令官は昨年北支の戰野で寺内最高指揮官の下に軍戦懐度び戦功を建て数と戦場を引揚げるといふので寺内大將に挨拶に行つた際、著面した名刺がなんと鹿鳴山の名を朗詠した大型名刺であつた、見るとその裏に粟飯原司令官の官職氏名がちやんと記されてあつたさうだ。粟飯原司令官の目くらに昔時鹿鳴山の住居を○○に當てはめたが、その家に鹿鳴山の名刺が際山落つこちてゐたのでそれを拾ひ上げたものを自分の名刺に使つたといふことである、斯くて兩將軍がテキキの上で當時の邂逅などを語らひ"ほら"あの名刺は大きな代物だつたなあ"と寺内大將は悦に入る、個別懇談

基隆警備司令官は若かりし頃南支歩兵第三聯隊にゐた際當時上官であつた寺内大將を三度聯上げして落つこしした田で之また旨の思出を語り合ひ"ほら寺内大將は"まだ良く覚えてゐるぞ、覚悟はまだをつたのか"と例の明朗な調子で聞した、斯くの如く台湾の地、人

三代表を主賓に 總督が歓迎晩餐會

軍、官、民有力者も出席

小林総督は獨伊訪問の大角、寺内兩大將と井坂孝氏を招いて二十六日午後六時から官邸で歓迎晩餐會を開いたが主賓の外に小島、小野田、八里、金田、加賀、山本、青木の七隨員に陪賓として原田軍司令官と森岡長官以下各部局長、戸水知事に福田海軍武官、酒井憲兵隊長、民間側の加藤、河村、能澤、王醒氏等も出席した、デザート・コースに入つてから小林総督起つて、今回四代表の獨伊訪問を訪問される事に上つて益々三國の親密に親密の度を増す事と思ふが邦家の發展に堅へない、四代表のご苦労を

故三好翁の墓所に詣づ

人間寺内の温い半面に遺族は感激

亀色のプレーンと云ふスマートないでたちで龍尾に車を乗りつけ出た寺内大將は原田軍司令官、粟飯原憲兵隊長、桜山基隆市長等の出迎を受け直に鹿鳴樣樣よりランチに乗船八番桟橋に移乘留の鹿島丸に帰船サロンに於て郵船伊藤副社長より、

「大角、寺内閣下の御安航を御祈り申上げます」

との挨拶あつて一同日本酒の合杯で乾杯、九時半

見送りの島田文雄局長と共に午後八時五十八分著列車にて基隆に帰著、駅頭に粟飯原憲兵司令官、森岡憲兵隊長、桜山基隆市長等の出迎を受け直に鹿鳴樣樣よりランチに乗船八番桟橋に移乘留の鹿島丸に帰船サロンに於て郵船伊藤副社長より、

「大角、寺内閣下の御安航を御祈り申上げます」

との挨拶あつて一同日本酒の合杯で乾杯、九時半

新莊郡民の排英大會

排英同志會支部を結成

新莊郡有志發起にかかる排英大會は二十六日午後一時から新莊街公會堂で開催された、開會前から郡民の各階級代表者が會場に詰めかけ、郡文書長氏開會を宣し矢つ長官挨拶、戰没者に黙する戦歌、皇軍武運長久祈願と泰利興氏推されて議長となり左記宣言決議を満場一致を以て可決した後台湾排英同志會新莊支部結成を祝り満場一致の賛同により支部が成立し林世南氏を小川堅一、星光乙茂子の諸氏の歓迎演説あり更に歓迎會は午後六時散會した。

海山郡の對英大會

板橋で盛大に開催さる

海山郡時局懇談對英大會は海山郡排英同志會の主催で二十六日午後二時から板橋公学校運動場で開催すれば満場立錐の余地なく官民挙げて各方面から寄せられた歓迎電の披露あり、続いて同郡総督に於て講

臺灣劇や映畫の興行取締を強化

近く臺北州で各郡署に通達

臺民化運動促進の見地から臺北州下に於ける台湾劇の興行取締を強化する為、臺北州保安課では興行に関する從來の取締方針を明文化する事に依つて台湾劇の極端を更に厳重にして野外劇を禁止し、従来の弊害のならないよう取締を復活して台湾劇から時局に

蘇澳港の荷揚場 新設促進を申合す

地元有力者が座談會を開き

【蘇澳電話】廿六日午後一時より蘇澳港會堂に郡下官民有力者九十名参集、新興大蘇澳港の開発に関する座談會が開催され、台湾の各所にある蘇澳港開発地建設新改工事（第二期工事五十五万七千四百四十二円）の完

臺灣劇や映畫の興行取締を強化

近く臺北州で各郡署に通達

臺民化運動促進の見地から臺北州下に於ける台湾劇の興行取締を強化する為、臺北州保安課では興行に関する從來の取締方針を明文化する事に依つて台湾劇の極端を更に厳重にして野外劇を禁止し、従来の弊害のならないよう取締を復活して台湾劇から時局に

臺灣劇や映畫の興行取締を強化

近く臺北州で各郡署に通達

臺民化運動促進の見地から臺北州下に於ける台湾劇の興行取締を強化する為、臺北州保安課では興行に関する從來の取締方針を明文化する事に依つて台湾劇の極端を更に厳重にして野外劇を禁止し、従来の弊害のならないよう取締を復活して台湾劇から時局に

蘇澳港の荷揚場 新設促進を申合す

地元有力者が座談會を開き

【蘇澳電話】廿六日午後一時より蘇澳港會堂に郡下官民有力者九十名参集、新興大蘇澳港の開発に関する座談會が開催され、台湾の各所にある蘇澳港開発地建設新改工事（第二期工事五十五万七千四百四十二円）の完

臺灣劇や映畫の興行取締を強化

近く臺北州で各郡署に通達

臺民化運動促進の見地から臺北州下に於ける台湾劇の興行取締を強化する為、臺北州保安課では興行に関する從來の取締方針を明文化する事に依つて台湾劇の極端を更に厳重にして野外劇を禁止し、従来の弊害のならないよう取締を復活して台湾劇から時局に

嘉中堂々と優勝

4A—0

六回のコールドゲーム

嘉農守備陣三回に壊滅

◇…まづ嘉農の第一打者関が第一球を狙つて可成りいい當りの三塁ゴロがあつたのみで呆く二番どこ穂、幕中も一番松井がこれもいい當りのゴロで三塁を抜いたのみで他は二飛と云へば、ともに決勝戦にふさわしい南京投手好調の第一回を終り、二回嘉中中島の投球を待ち受けて嘉中のバントで一死走者を三塁の危機を迎へた時はまづ幕中リードするかと思はれたが次打者山崎を迎へて内、外角を巧に衝き二二と攻め得意のドロップに絡み取つて切抜けた御口の投球は思はず小躍を叫ばしたのであつた。

◇…一塁御何時破るるかの感ある嘉農投手陣も二回嘉を迎へるや著形に現まる安打と暴投二に二つの適時失策を加へて計四点を叩き出だしあつけない嘉農の敗れ方であつた

◇…二安打を浴びて遇いた御口に代る富士の投球は決して不出來なものではなかつたが、敵側陣の暴投は大きく、又一死満塁の危機に於ける二塁手の位置はかしく深すぎて充分間に合ふ前球に走者を生かし次の場合は位置もよく投球も間に合つたが今度は本塁は封殺で一塁の併殺を狙ふ二塁手の緩慢な動作は再びまづい結果を招いた

◇…リードされて強い嘉農も遂に本塁に迫つて一番見から四点を叩き出すは再び嘉中ペース、遂に第一中盤には可成り球速に緩を見せてゐた酒見はインローは入らなかつたが外角の各目目を巧に衝きこれに内角から切込むカーブを混へて嘉農打者を苦打した。嘉農の連中も合せて方策へ持つて行く打法を試みてゐたが矢張球速に負けて遂れ氣味、五回嘉士の一塁を除いては これと云ふ當りは見えなかつた。

◇…結局嘉農の負であらう、それにしても一死満塁で最初の二点は何れも失策のあれで二死になつてゐればスクイズもなしで結局一点にすんだらうものを嘉農に取つて泣いても泣き切れぬ二回戦であつた

◇…主戦酒見好調、内外野亦到北酒戦における一失を除けば何れも無失策の守備戦。加ふるに一番から九番まで何れも穴のないライナップとこれでは嘉中の優勝は當然であらう、戦前練習不足であまり期待されなかつたが矢張り傳統の智神力を發揮して優決勝には北部の強豪一家を退け堂々決勝に駒を進めた嘉農には強敵の嘉農を表し度い。

▲第一回（嘉農）陸二番、関部、柴田共に三振（嘉中）渡部二飛松井二番塁出一飛　▲第二回（嘉農）馬越投前中左右飛出三振（嘉中）中島投前失に生き日永の投前適打で進んだが

▲第三回（嘉農）河野二振前園二邪飛　▲第四回（嘉農）陳投前園部投術強四二振（嘉中）（嘉農濱口再び投手となり嘉士左飛に退く）金澤から死で四球を補手嘉球を敵投して松井左翼日永投手陽スクイズバントは合澤から死でヒットとなり島山生塁出四二飛前園二飛

▲第四回（嘉農）陳投前園部投術強四二振（嘉中）（嘉農濱口再び投手となり嘉士左飛に退く）金澤から死で四球を補手嘉球を敵投して松井左翼日永投手陽スクイズバントは合澤から死でヒットとなり島山生塁出四二飛前園二飛

▲第五回（嘉農）馬越一番嘉士二番中島中飛　▲第六回（嘉農）河野二振関二番酒戸二振（嘉中）日永二飛で一死の時猛烈なる驟雨が球場を襲ひ試合不能となり後にコールドゲーム四Aで嘉中の優勝を決定、嘉中は來る八月二日出戦の鶯歌丸で北港に就く車となつた

嘉農（先攻）	打	安	犧	盜	四球	失
関（中）	0	0	0	0	0	0
陳（捕）	0	0	0	0	0	0
園部（遊）	0	0	0	0	0	0
黒澤（右）	0	0	0	0	0	0
富井（二）	0	0	0	0	0	0
河野（左）	0	0	0	0	0	0
濱口（投）	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

嘉中	打	安	犧	盜	四球	失
渡部（捕）	0	0	0	0	0	0
中島（左）	0	0	0	0	0	0
日永（右）	0	0	0	0	0	0
酒戸（二）	0	0	0	0	0	0
澤田（遊）	0	0	0	0	0	0
山崎（三）	0	0	0	0	0	0
馬越（投）	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

嘉農 0 0 0